

SEA LIFE NEWS

TOKYO SEA LIFE PARK



葛西臨海水族園

ハワイアンクリーナーラス

【英名】Hawaiian cleaner wrasse

【学名】*Labroides phthirophagus*

「ハワイ沿岸」水槽で展示しているハワイアンクリーナーラスは、頭から尾にかけて黄から青と変化する体色がとても美しい、魅力的な魚です。

本種は隣の「南シナ海」水槽にもいるホンソメワケベラと同じなかまで、ほかの魚の体表についた寄生虫や粘液を食べる「掃除魚」です。こちらの種は名前にクリーナーとついているので、とてもわかりやすいですね。

ときどき、跳ねるように泳いでいることがありますが、これはほかの魚に「私は掃除魚ですよ」とアピールするための泳ぎ方です。じっと観察していると、メイキュウサザナミハギやミレットシードバタフライフィッシュなどの体表についてクリーニングしている様子を見ることができます。

(飼育展示係 平井 蒼大)



CONTENTS

SEA LIFE TOPICS

- フェアリーペンギン オーストラリアからの卵の輸送 2回目の試み
- 季節はずれのワカメ

なぎさNEWS

- ミニ企画展示「干潟へ行ってみよう!」を開催しました
- なぎさで探そう! こんな生き物「ムロミスナウミナナフシ」

水族園のもう一つの顔

- マグロ水槽 Q&A

TSLP LATEST

Vol.24 No.5 2026

OCTOBER

通巻

130

SEA LIFE TOPICS

フェアリーペンギン オーストラリアからの卵の輸送

✦ 2回目の試み

2025年7月に続き、今年もオーストラリアからフェアリーペンギンの卵を輸送しました。初めての試みであった昨年は多くの課題が残りましたが、それを踏まえた再挑戦です。卵は昨年同様バララットワイルドライフパークと、新たにメルボルン動物園の2カ所の施設から提供していただきました。昨年持ち帰った卵は4個で、そのうち有精卵は1個だけでした。今年は施設の担当者とともに連絡を



8月末、こんなに大きくなりました！

取り合い、現地の産卵の状況を把握しながら、適切な時期の有精卵を輸送する日を決めました。

その結果、携帯ふ卵器に入る最大数である12個の卵を持ち帰ることができました。

2026年6月20日、オーストラリアから葛西臨海水族園に到着したあと、数日おきに合計8羽のヒナがふ化しました。昨年はヒナが育たなかったことから、温度管理や給餌内容を見直しました。給餌は毎日、7時30分の回から19時30分の最終回まで1日4回おこないました。ふ化してすぐの頃に、お腹が張ったり食欲がなくなったりする個体もあり、寝不足でクタクタの担当者を不安にさせることもありました。成長とともに給餌回数を減らし、ふ化後40日前後で成鳥と同じ1日2回の給餌へと切り替えました。ヒナはそれぞれ個性豊かで、たくさん食べる個体、少しずつ時間をかけて食べる個体などがあるため、個体の体調に合わせた管理をおこないました。1羽は残念ながらふ化後まもなく死んでしまいましたが、現在、残りの7羽は元気に生育中です。ヒナの状態をみながら展示場へデビューする準備をすすめています。(飼育展示係 齊藤 美和)



生まれたばかりの小さなフェアリーペンギン

季節はずれのワカメ

「海藻の林」水槽にはさまざまな海藻が繁茂しており、中には皆さんの食卓でお馴染みの海藻であるワカメも展示しています。海では、ワカメは褐色で大きくなると約2mにもなります。

ワカメは成熟すると、根元の“めかぶ”と呼ばれる胞子葉が大きく立派になります。胞子葉から胞子が放出されると親のワカメは枯れていきます。胞子は海を漂ったのち岩などに着底し、成長すると配偶体という小さな糸くずのような姿になります。配偶体には雌雄があり、受精したものが大きく成長すると次の親のワカメとなるのです。自然の海では、春に胞子が出て夏の間は配偶体で休眠し、水温が下がる秋～冬にぐんぐん大きく成長していきますが、「海藻の林」水槽では夏の間も水温を18℃前後と低く保っているため、

休眠せず繁殖したたくさんのワカメが生えています。

水槽では、今年の2月から3月にかけて採集したワカメを展示していましたが、先端からだんだんと朽ちていき、6月ごろには枯れてしまいました。その少し前から水槽壁面に新芽がちらほら見えていたが、そこからの成長が驚くほど早く、7月には40cmをこえるほどになり、はっきりとワカメだとわかる姿になりました。今では“めかぶ”が大きく目立つようになっています。

自然の海のワカメよりもはるかに繁殖のスピードが早く、最初は戸惑いでしたが、多くの方に生きた姿を見もらえる機会が増えて、飼育担当者としては大満足です。低いままの水温で飼育を続けていき、今のワカメがいつ枯れるのか、さらに次の新芽はいつ生えてくるのか、もしかしたら一年中大きなワカメを展示できるのか。これからは楽しみです。(飼育展示係 市川 啓介)



ワカメの胞子や配偶体はとても小さい。顕微鏡で見るレベル！

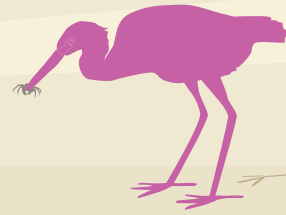


ワカメの新芽



フリルのような部分がめかぶ

なぎさ NEWS



ミニ企画展示「干潟へ行ってみよう!」を開催しました

「干潟にはどんな生き物がいるの?」「どこを探せば見つけれられる?」「何を持っていったらいいの?」そう思ったことはありませんか? 情報資料室では毎年、初夏になると干潟についての質問を多くいただきます。皆さんに、より干潟に興味をもって実際に足を運んでももらえたらいいなと思い、2026年7月2日～28日の期間、情報資料室でミニ企画展示「干潟へ行ってみよう!」を開催しました。水族園の目の前の干潟「西なぎさ」で実際に採集した生き物を標本で紹介するコーナー、観察ノートなど干潟での生き物観察に便利な道具を紹介するコーナーなど、テーマを決めて手書きの解説サインと共に展示しました。「干潟で拾ったこの貝なあに?」のコーナーでは、「マテガイって二枚貝だったんだ!」という感想を多く耳にしました。一見、筒のように見えるマテガイですが、よく観察することで、生き物の形の面白さにも気づいてもらえたと思います。

現在展示は終了しましたが、干潟で遊んで分からないことや不思議なことがあったら、情報資料室でスタッフに質問してみてください。

(教育普及係 吉澤 雄登)



棚いっぱいには標本や観察道具がずらり!



貝殻を棚にじかに置いて、干潟で見つけるワクワクを再現!

これが
マテガイ!

なぎさで探そう! こんな生き物

見つけやすさ ★★★★★ ☆

サイズ 体長 1.5cm

見つけるコツ

しお潮が引いた「西なぎさ」に行き、スコップで砂をほってみよう。砂のかたまりをくずしていくと、割れ目からポロっと出てくることがあるよ。砂の上に置くと、もぞもぞともぐっていくぞ。「西なぎさ」にはたくさんいるけれど、とても小さいからよく目をこらしてさがしてみてね。

ムロミスナウミナナフシ (スナウミナナフシ科)

■ムロミスナウミナナフシはこんな生き物

昆虫のナナフシみたいに、細長い木の枝のようなすがたをしているけれど、ダンゴムシやフナムシに近いなかなんだ。

体をよく見て、たくさんあるあしを数えてみよう。ダンゴムシといっしょで14本あるよ。砂に穴をほって、小さなゴカイのなかななどを食べてくらしているんだ。メスはおなかにある袋で卵を守って、5月ごろになると小さな赤ちゃん(幼体)が生まれてくるよ。

「西なぎさ」ではたくさん見つかるけれど、東京湾では数がへっていて、絶滅が心配されているんだ。

(教育普及係 田中 隼人)



動画で見てみる?



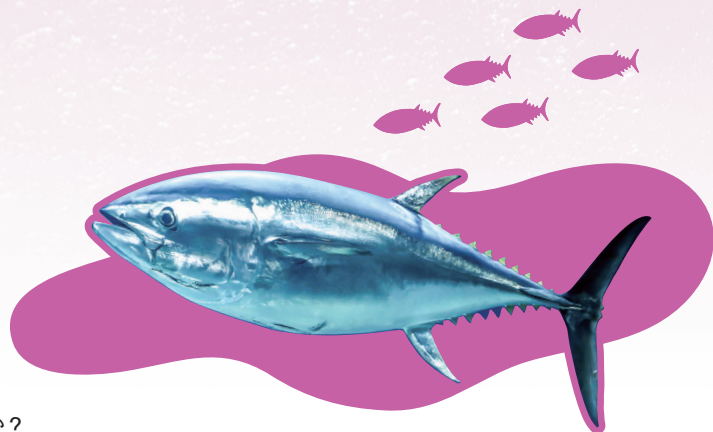
水族園 のもう一つの顔

マグロ水槽 Q&A

10月10日は「マグロの日」だということを、皆さんはご存じですか？

奈良時代の歌人山部赤人がこの日に、万葉集でマグロ漁で栄える明石の海をたたえる歌を詠んだことになみす。

10月号では、水族園の主役のひとつ、クロマグロの水槽に関する皆さんのギモンにお答えしちやいます。（飼育展示係 笹沼 伸一）



Q. マグロの展示水槽の水の量はどれくらい？

A. マグロの水槽は水族園で一番大きくて、水量は約2,200t！小学校の25mプールが300～400tとすると約6杯分になります。水槽の深さは一番深いところで7mもあるんですよ。



クロマグロの泳ぐ「アクアシアター」

Q. 夜の水槽は昼と違うところがあるの？

A. 夜の間は、水槽のアクリル面に沿ってエアレーションをしています。マグロがアクリルにぶつからないようにするためです。また、水中に酸素を補給する役目もしています。



徐々に暗くなります
夜は水槽も

Q. マグロ水槽のアクリルの厚さは何センチくらい？

A. 大きな水槽を支えるアクリルの厚さは、約26cmです。一枚板ではなく数枚のアクリルを貼り合わせて強化しています。つなぎ目を斜めから注意して見ると、貼り合わせている縦のつなぎ目が見えるかも。



この厚みが水槽を支えています！

Q. マグロ水槽の照明の数はいくつ？

A. 水槽を照らすLED照明の数は51個です。間隔をあけて均等に照らすように配置しています。点灯や消灯は段階的におこない、マグロを驚かさないように少しずつ明るさが変わるように工夫しています。



天井から吊るされた照明がいっぱい

TSLP LATEST

TOKYO SEA LIFE PARK

- 8/1-28 情報資料室ミニ企画展示「海の縁日資料館」を開催
- 8/1-9/15 暑熱対策のためペンギンのエサの時間のガイドを中止
- 8/8-11 「水族園で夕涼み」を実施
- 8/18-9/1 カナダで北極圏の生物採集を実施
- 8/21 教員対象セミナー「水族園でみつける『うみのかくれんぼ』」を実施
- 8/30 東京動物園友の会ジュニア会員向けイベントを実施
- 9/8 クワイエットアワーを実施
- 9/12 幼児向け「進め！海のいきものたち」を実施
- 9/27 講演会「小さな小さな生き物『メイオベントス』の知られざる世界」を開催



TOKYO
SEA LIFE
PARK

編集後記

「めかぶ」がワカメだということ知っていても、どこの部分をさしているのかを知っている人は少ないかもしれませんね。「めかぶ」「莖ワカメ」「葉の部分」と、同じワカメなのに部位によって触感がずいぶん違うのも、面白いです。10月はMyワカメ月間と決めて、ワカメをたくさん食べようかな。まずは大好物のワカメご飯から…。(高濱)

SEA LIFE NEWS 通巻 130

Vol.24 No.5 2026 OCTOBER 10月1日発行（次号は2026年12月発行予定）

編集 葛西臨海水族園
〒134-8587 東京都江戸川区臨海町 6-2-3
TEL.03-3869-5152
www.tokyo-zoo.net/zoo/kasai/

発行 公益財団法人東京動物園協会
〒110-0008 東京都台東区池之端 2-9-7
池之端日殖ビル7階
TEL.03-3828-2143

